

# 週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和元年 6 月 18 日

## 豊中ロータリークラブ

第 2850 回例会

第 2433 号



インスピレーションになろう

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2018～19 年度  
国際ロータリー会長  
バリー・ラシン  
BE THE INSPIRATION

Rotary



2018.7～2019.6  
会 長 武枝敏之  
副 会 長 谷野桂子  
幹 事 矢口正登  
雑誌・広報・会報委員長  
森本博明

### 本日（6 月 18 日）のプログラム

#### 「一年を振り返って」

職業奉仕委員会委員長	矢野 昭
社会奉仕委員会委員長	宮田幹二
国際奉仕委員会委員長	松尾宗好
青少年奉仕委員会委員長代理	畑田耕一

### 次回（6 月 25 日）のプログラム

#### 「一年を振り返って」

会 長	武枝敏之
副 会 長	谷野桂子
幹 事	矢口正登

### ☆会長の時間☆

「シーロムロータリークラブの方を迎えて」

2018-19 年度 会長 武枝敏之

6 月 16 日の創立 60 周年記念式典には多数の会員の皆様のご出席いただき盛大に挙行することが出来、米田眞実行委員長をはじめ、会員の皆様に改めてお礼申し上げますとともに事業が無事終了したことで私自身は、全身の力が抜けた状態です。本当にありがとうございました。この記念式典には、2660 地区山本博史ガバナーはじめ青山快玄ガバナー補佐、第一組の 15 クラブから会長幹事の皆様もご参加いただき盛大な式典になりました。

本日豊中ロータリークラブの例会には、シーロムロータリークラブのプラチャヤ会長はじめ 9 名の方をお招きしております。皆様は 6 月 15 日の訪日以来、16 日の記念式典へのご出席等、様々な行事にご参加いただきました。我々豊中ロータリークラブが貴国に訪問させていただきました節は、心からの歓迎を受けました。少しでもお返しできたならうれしく思います。今夜は、さよならパーティーを開催させていただきます。ここでも親交を深めていただければと考えます。

来月からは、新たな 70 周年に向けてのスタートです。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

### 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内  
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より

事 務 局：10 時～16 時（土日祝を除く）

HP アドレス：[www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/](http://www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/)

メールアドレス：[jtrc2660@sun-inet.or.jp](mailto:jtrc2660@sun-inet.or.jp)

## 例会出席報告☆

	第2848回	第2845回
例会日	5月28日	5月12日
①会員数 A	37	37
(内出席免除者)	5	5
②出席義務者数	32	32
③出席義務者出席数	21	15
④出席免除者出席数	3	2
⑤メイクアップ数		3
⑥出席義務者欠席数	11	17
出席率 %	68.00%	58.00%

出席率(前回) = ③+④/②+④ 出席率(前々々回) = ③+④+⑤/②+④

## ○幹事報告○

- ・国際ロータリー第2660地区より  
「第15回日韓親善会議2019開催案内」が届きました。  
「2019年6月ロータリー親睦活動月間リソースのご案内」が届きました。  
「2018-19年度ガバナー月信6月号送付のご案内」が届きました。

## ☞ 掲 示 板 ☜

- ・新旧クラブ協議会  
日 時：6月18日(火) 本日例会終了後  
場 所：ホテルアイボリー1F かやの間
- ・SILOM RC-送別懇親会  
日 時：6月18日(火) 本日17:30~  
場 所：割烹 みな川 蛭池駅前 TEL: 06-6152-6522
- ・次年度一親睦委員打ち合わせ  
日 時：6月25日(火) 例会終了後  
場 所：ホテルアイボリー例会会場前
- ・ニコニコクイズ  
日 時：6月25日(火) 例会会場  
場 所：ホテルアイボリー3F
- ・新旧理事・役員懇親会  
日 時：6月29日(土) 18:00~20:00  
場 所：がんこ石橋苑
- ・豊中市“社会を明るくする運動”  
日 時：7月1日(月) 16:25集合 16:30開始  
場 所：きたしん豊中広場集合
- ・2019-20年度第1回定例理事会  
日 時：7月2日(火) 例会終了後  
場 所：ホテルアイボリー例会会場
- ・新会員歓迎納涼会  
日 時：7月27日(土) 18:00~  
場 所：千里阪急ホテル

### 唱歌担当：

- ・6月25日「高原列車が行く」 小牧会員
- ・7月2日「豊中RCの歌」 北村会員

## ♥6月4日のニコニコ箱報告♥

- ・皆出席祝いを頂いて  
澤木、畑田、矢口、武枝各会員
- ・誕生日祝いを頂いて 横田会員
- ・結婚記念日祝いを頂いて 横田会員
- ・家内の誕生日祝いを頂いて 佐川、松山各会員
- ・入会記念日祝いを頂いて 矢口会員
- ・澤木会員有難うございました。 宮田会員
- ・豊中RC60周年おめでとうございます。  
木村、村司、米田、矢口、福盛、武枝、谷野、  
志水、西藏各会員
- ・写真を頂いて  
木村、米田、松山各会員

### ♪本日の唱歌♪

#### 青い山脈

作詞：西條 八十 作曲：服部 良一

1. 若くあかるい 歌声に  
雪崩は消える 花も咲く  
青い山脈 雪割桜  
空のはて  
今日もわれらの 夢を呼ぶ
2. 古い上衣よ さようなら  
さみしい夢よ さようなら  
青い山脈 バラ色雲へ  
あこがれの  
旅の乙女に 鳥も啼く

唱歌担当 奈須正典会員

### 6月チーフ：小川会員

#### ◎副幹事・副SAA当番◎

6月副幹事 眞下 節 会員

6月副SAA 小寺潤一 会員

#### ◎親睦委員会受付当番

6月18日 志水会員、西藏会員

6月25日 今川会員、眞下会員

## 6月4日の卓話



### 「後期新会員自己紹介」

卓話者：田畑榮彦会員

皆様お世話になります。4月9日に入会致しました田畑榮彦でございます。私の職業は「葬儀屋さん」です。会社名は（株）北大阪セレモニーで、人の死に関わる仕事をさせていただいております。

皆様は葬儀の事に関してご存知でしょうか。本日は葬儀の流れ等に関するお話をさせていただきます。一般的なお葬式の流れといたしましては次のようになります。

- ①ご臨終 医師より死亡診断書を受け取ります。
- ②葬儀社へ連絡 葬儀社へご連絡ください。365日24時間受付。
- ③搬送・安置 葬儀社の安置施設へ故人様を移送し枕飾りをします。
- ④葬儀の打ち合わせ 宗教・宗派、およその参列者の人数を確認し、葬儀の形式、費用やお寺様との調整をし、日程などを決定します。
- ⑤葬儀案内 通夜、葬儀の日時、場所を親類や友人知人、会社関係やご近所へ連絡します。
- ⑥納棺 ご遺体を清めた後、旅支度を整えてお棺へお納めします。
- ⑦通夜 参列者、宗教者を招き通夜式を行います。
- ⑧葬儀・告別式 宗教的な儀式である葬儀、故人様および故人様の霊に対してお別れを告げる告別式を行います。
- ⑨出棺・火葬 故人様と最後のお別れの後、火葬場へ向かい火葬をします。
- ⑩精進落とし お世話になった方々の（最近の傾向としては親族様だけで）労をねぎらい精進落とし料理を召し上がっていただきます。
- ⑪初七日法要 火葬場でお骨上げの後、式場へ戻り遺骨回向・初七日法要を行います。
- ⑫後飾り ご自宅に納骨まで「ご遺骨」「お位牌」「遺影写真」を飾り供養をします。

葬儀社を見極めるときに大事なことは、会社の規模で決めないということです。大きい会社だから安心とは限りません。ここでお勧めするのが「事前相談」です。ご不幸が起こる前に準備をしておくこと、すなわち「終活」です。今から最期の時までをどのように生きていくのか、そして人生の終わりをどのようにしたいのか、自分らしい葬儀にするにはどうしたらよいのか等を事前に知ることこそが安心への第一歩になります。エンディングシートの作成をするのも「終活」のひとつです。

葬儀は故人のためだけでなく、残された人のために行われるという意味合いもあり、残された人々が故人の死を心の中で受け止め、ちゃんと送りましたよと感じていただけることが葬儀社の使命であると考えます。故人をちゃんと送ったということが、残された人のこれからの人生に大きな意味を成すと思います。

## 6月4日の卓話

### 「春のRYLA報告」



米山奨学生：楊 馳

人間はいろいろな組織・団体で、自分の役割(キャラ)を探し、自分しかできない仕事を全うする能力があると思っています。2019年度春のRYLAセミナーの三日間を通して、私を含む6班のみんなが親密なメンバーになりました。最初は話しが噛み合わないこともあり、齟齬をきたすこともありましたが、ぎこちないながらも探り探りチャレンジしてきました。パスタマシュマロやラグビーチャレンジ、登山中のクイズなどなどいろいろなゲームを通して、お互いのことを知りつつ、チームワークを高めてきました。今はお互いのことをよく知り、唯一無二のチームになったと私は感じています。

今回のRYLAセミナーのテーマは「We are—君の宝を探そう—」です。私が思った「We are」は We are challenger (我々は挑戦者だ)です。人は変わろうと思えば簡単に変わることができます、自分の壁を壊そうと思えば、いくらでも壊すことができます。勇気を振り絞って、一歩踏み出してみればなんでもできます。誰もがみんな挑戦者です。そして、宝物はコミュニケーションを通して、仲間(セミナーのメンバーに限らず)と深めた絆です。

また、RYLAの「L」、Leadership、リーダーシップというのは、単に誰かが引っ張って、他の人をリードするのではなく、仲間の持つそれぞれの個性・能力を生かすことがリーダーシップであると思います。私の専攻は外国語教育学です。現在の教育現場では、「21世紀型スキル」という言葉が広まっています。「21世紀を生き抜くために育むべき能力」のことです。その中に、コラボレーション、イノベーションなど項目も含まれています。つながり、コラボレーションで能力を高めること、コミットメントを引き出すこと、インスピレーションを与えることなどのこれらがこのグローバル社会において求められ

ます。私自身もそうです。課題が捗らない時、研究室の仲間たちと励まし、励まされて、一人ではなかなか乗り越えない壁を、みんなの力で乗り越えるようになりました。

ロータリーの今年のテーマBe the inspirationは、まさにお互いにコミュニケーションを取り、高め合って、切磋琢磨しながら共に成長し、進歩することだとこの三日間で学びました。

## 6月4日の卓話

「春のRYLA報告」

豊中RC奨学生：Wong Ting Sam



Golden week 最初の三日間は家族か友達と一緒に過ごしたいと思っていた人はいっぱいいました。けど、その中で友達を作りたい人や日本語を勉強したいなどもありました。正直に言うと私はRYLAを体験する理由は気分転換でした。就職活動でのストレスを発散するために、行こうかなと思いました。結果としてはとても良かったです。

一日目は弁護士の松木さんが講演した「未来を切り拓く力をつけよう」というセミナーがありました。セミナーの内容はざっくりと言うとThink out of the boxをすることです。「今まで習ってきた知識、固定概念に絞らず考えて見ましょう」と言う話でした。このような話は人生で数回聞きましたが、松木さんは各大学の有名な授業や面接の問題など、みんなと一緒に考えてみようと言う講演でした、とても印象に残りました。固定概念の話は、研究する私たちにはとても大事と思いました。研究者は論文を読んで作者の考え方にひっぱられることはよくあると思います。そうしない様に彼の話しのおかげで改めて気づきました。最初のセミナーのおかげで、RYLAではもっと習えることがあるんじゃないかなと思って来てICEBREAKの時に自己紹介をして、RYLAの三日間の目標を「知識」にしました。その後、マッシュマロタワーを作るゲームを二回しました。最初はみんなは遠慮していたかもしれないから、一緒にゲームをしている実感がありませんでした。二回目はみんなが意見を言えるようになりましたが、この二人は意見が分かれていて喧嘩になりそうでした。でも、この人はEQが高くて最後は何もありませんでした。一日目の寝る前に自分は反省をしました。RYLAはLEADERをトレーニングするセミナーと考えて、メンバーが喧嘩になりそうな時に自分が何をすべきか、みんなと仕事する時は自分の意見を言う時は押し過ぎたかを反省しました。

二日目はHikingとRugbyの体験をしました。普通のHikingではなく、色んなミッションがあるHikingでした。その中の一つはみんなのNicknameを作って最後に名前の一文字目を使って文章を作ることでした。何を作ったか覚えていないのですが、Nicknameを作る時にみんなの中学や高校時代のことを聞いて仲良くなってとても楽しかったです。Hikingの後はRugby体験でした。Rugbyに対して色々知りまして嬉しかったです。伝説によるとRugbyはRugby校のエリス・ウェブという生徒がサッカー中にボールを持って走ったことが始まりらしいです。私はRugbyに対して知識がなかったので、Rugbyは筋肉が付いている人がぶつかりあう印象しかありませんでした。Rugbyはイギリスが発祥地です。当時の上流階級を中心に一般化され、騎士になるためのSportという噂もありましてOne for all, all for oneという紳士のスポーツです。紳士のスポーツと言いますが、私は怖いので、VRで体験をしました。そして、Rugbyの人達が考えてくれた仲間の関係を深めるためのゲームをしましてとても充実した一日になりました。

最後の日は「We are …」というテーマで発表をしました。自分の人生の糸をこのRYLAを通して私たちだけの素晴らしい「マフラー」を作りました。糸はRYLAが終わったら切れますが、みんながこの作品を持って帰り自分の人生を続けていくという強い意志を持つという意味で、我々は「We are マフラー」というテーマを考えました。

以上